

令和4年度事業報告及び決算報告等について

I 令和4年度事業報告

第1 概 況

本道の酪農・畜産は、近年、経営者の高齢化や後継者不足による農家戸数の減少、労働力不足、進展する国際化への対応、海外悪性伝染病に対する防疫体制の強化、自然災害への備えなどが課題となっている。

また、気候変動による世界的な食料生産の不安定化、世界的な食料需要の拡大による食料調達の激化、輸入食品原材料の価格高騰、化学肥料原料の輸出規制などにより、我が国の食料安全保障の強化が課題となっている。

令和4年度は、6月以降の断続的な降雨などにより、一部の地域で、農作物の生育への影響や農業用施設に被害があったものの、飼料作物を含め農作物全体の作柄は、総じて良好な年となった。

酪農・畜産の状況は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響による畜産物の需要低迷、ウクライナ情勢や円安の急激な進行によるエネルギーや飼料・肥料をはじめとした生産資材価格の高止まりは、酪農・畜産経営に大きな影響を及ぼしており、特に、酪農においては、生乳の需給緩和による生産抑制、初生牛など個体販売価格の低迷により、厳しい状況が続いている。

こうした状況の中、本協会としては、本道の酪農・畜産の経営の安定と生産基盤の強化を図るため、経営診断や研修会、各種情報提供等の経営改善指導事業、和牛の改良や生産基盤の強化、担い手の育成、和牛ブランドの創出等の畜産生産振興事業、全国和牛能力共進会北海道大会準備事業、肉用牛肥育経営安定交付金の交付等事業、めん羊や和牛の登録推進事業、機械施設リース事業、畜産クラスター関連事業などについて、関係機関・団体と連携を図りながら的確に推進した。

第2 事業の実施状況

1 経営改善指導事業

活力のある安定した畜産経営を育成・確立するため、経営診断の実施、研修会の開催及び各種情報提供等による経営改善指導を行った。

(1) 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会/補助 46,550 千円）

畜産の担い手育成・確保に向けた体制の整備・強化を図り、各般の畜産振興対策の効果的推進に努めた。

(2) 新規就農者定着促進調査事業（北海道農業公社/委託 2,585 千円）

公社営農場リース事業を活用した新規就農者等について、その経営が計画性をもって担い手として定着できるよう、経営状況の調査及び診断を行った。

経営診断・分析支援

19 件

(3) 畜産経営診断指導事業（農協・生産者/2,002 千円）

畜産経営の各種分析を行い、経営改善のための助言及び指導を行った。

助言指導 15 件

(4) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会/補助 27,559 千円）

畜産特別資金及び畜産経営維持緊急支援資金の借受者に対する経営改善指導のため、関係機関団体と連携して、本協会が独自に開発した酪農経営支援システム等を活用し、借受者に対する計画作成指導、計画達成指導を実施した。また、融資機関等の指導体制確立のための支援指導を行った。

① 都道府県支援協議会の開催

- ・協議会活動の企画・調整等 7 回
- ・経営事例調査 367 件（簡易分析 290 件、状況把握 77 件）

② 融資機関への指導・助言

- ・巡回指導等 14 回
- ・中央現地調査 4 地域（日高、胆振、渡島、桧山）

③ 経営改善計画作成・見直し及び達成指導

- ・計画作成指導等 93 件
- ・濃密指導（月次モニタリング） 5 農協 12 件

(5) 地域畜産支援指導等体制強化事業[相談窓口]（中央畜産会/委託 2,500 千円）

課題を抱える畜産経営に対し、より効果的な支援指導を行うため、関係機関と連携し今後の指導方針及び改善方策について意見交換を行った。

検討会等 5 回（留萌、北見、十勝他）

2 畜産生産振興事業

畜産の生産振興及び生産基盤の強化に資するため、次の事業を行った。

(1) 強い農業づくり事業：和牛産地確立推進

（北海道・ホクレン・ジェネティクス北海道/補助他 28,017 千円）

北海道和牛の産地ブランド確立のため、生産者をはじめ、関係機関・団体が一体となり、優良繁殖雌牛の選抜・保留や次世代種雄牛の造成、道内肥育の推進など、北海道和牛の生産基盤強化を図る取組みに対し支援を行った。

① 和牛繁殖基盤造成

- ・ゲノム育種価評価 504 頭 26 集団 11,250 円/頭
- ・現地検討会 2 回

② 育種改良組織等の活動強化

- ・現地検討会 1 回

③ 高能力繁殖雌牛活用推進

- ・高能力繁殖雌牛認定 58 頭
- ・ゲノム育種価評価 20 頭 12 集団 11,250 円/頭
- ・育種牛認定 27 頭 100,000 円/頭

- ④ 新規種雄牛早期市場評価推進対策
 - ・ 早期市場評価奨励 45 頭 30,000 円/頭
- ⑤ 道内肥育推進対策
 - ・ 道内出荷流通拡大奨励 240 頭 50,000 円/頭
 - ・ 道内と畜増頭奨励 77 頭 50,000 円/頭
- ⑥ 早期肥育出荷技術モデル実証 3 戸 18 頭 150,000 円/頭
- ⑦ 枝肉改良共同研究
 - ・ 枝肉横断面における脂肪交雑形状の指標評価・活用法の開発 帯広畜産大学
 - ・ 肥育牛の早期出荷に適した育種価評価法と育成・肥育技術 畜産試験場

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構/補助 63,238 千円）

① 肉用牛生産基盤強化対策

生産者集団等が行う生産基盤強化に資する取組みに対し支援を行った。

- ・ 繁殖雌牛の増頭に対する助成
 - 育種価等要件達成 262 頭 80 千円・100 千円/頭
- ・ 肉用牛ヘルパー活動に対する助成（1/2 以内） 10 利用組合
- ・ 簡易牛舎等の整備に対する助成（1/2 以内） 10 団体

② 地域の特色ある肉用牛振興対策

生産者集団等が行う地方特定品種の生産基盤の維持強化への取組みに対し支援を行った。

- ・ 褐毛和種の肥育牛計画出荷に対する助成 124 頭 580 円/日・頭
- ・ 離島子牛の島外家畜市場出荷に対する助成 94 頭 7,200 円/頭
- ・ 日本短角種経営の自給飼料生産資材等に対する助成 1 生産者集団

③ 強化哺乳技術を活用した早期出荷支援

強化哺乳技術の活用等の取組を実施した肉用子牛生産者に対して家畜市場への早期出荷頭数に応じた奨励金を交付した。

- ・ 早期出荷支援頭数 528 頭 6,000 円/頭

(3) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業：生産基盤拡大加速化

(全国肉用牛振興基金協会/委託 4,879 千円)

畜産クラスター計画に基づき、優良な和牛繁殖雌牛を増頭した生産者に対して奨励金を交付する事業の推進業務を行った。

取組主体 59 農協等 補助金額 310,342 千円

(4) 肉用牛経営災害緊急支援対策事業（農畜産業振興機構/補助 10,228 千円）

令和 2 年 12 月から令和 3 年 3 月までの大雪災害に係る被災畜産関連施設の補改修や停電時に家畜の生命維持に必要な機械を稼働させるための非常用電源の整備について支援を行った。

非常用電源の整備 4 団体

(5) 畜産・酪農生産力強化対策事業：A I ・ E T（中央酪農会議/委託 5,763 千円）

性別別精液等の活用により、優良な乳用種後継雌牛の確保を図り、酪農生産基盤を強化する事業の推進業務を行った。

事務取扱 79 農協 補助金額 468,081 千円

(6) 和牛遺伝資源流出防止対策緊急支援事業：E T（中央酪農会議/委託 5,237 千円）

契約により国内利用に限るなどの制限が付された和牛受精卵を、乳用牛へ移植する取組を支援した。

事務取扱 81 農協 補助金額 770,140 千円

(7) 肉牛改良推進事業

和牛改良を推進するため、道内の黒毛和種のデータを分析し、育種改良及び繁殖管理の改善を目的とした指導及び情報提供のほか、道内で収集された枝肉情報と全国枝肉データベース事業による枝肉情報を用いて育種価を算定し、繁殖成績における分娩間隔の育種価と併せて、関係団体及び生産者への情報提供を行った。

また、優良な家畜の展示評価並びに肉牛の枝肉展示評価を通じて、飼養管理技術や改良増殖技術の向上を図るため、共進会・共励会の後援や協賛を行うとともに、本道の特色ある雌牛集団の形成や改良に対する普及啓発を行った。

① 肉牛改良推進のための研修会等の開催

・和牛技術研修会 地域研修会 7 回・全道研修会 2 回

② 家畜生体肉質装置を用いた肉質診断 3 回

③ 家畜共進会、肉牛枝肉共励会の審査・後援・協賛等 45 回

④ 産肉能力育種価評価の実施と公表 2 回

⑤ 他団体主催各種調査立会

・全国和牛登録協会 産肉能力検定(直接検定 開始・終了) 3 回

・家畜改良事業団 種雄牛枝肉調査(現場後代検定 前期・後期) 14 回

・ジェネティクス北海道 種雄牛産子調査(現場後代検定) 18 回

⑥ 和牛育種事業強化支援の実施（びらとり和牛育種組合・十勝和牛育種組合）

⑦ 和牛経営定点調査の実施 21 戸

⑧ 北海道ゲノム育種価事業の実施 74 件

⑨ 協会のホームページによる肉牛改良情報の提供 アクセス件数 25,267 件

(8) 道産牛肉生産強化事業（北海道/補助 1,019 千円）

和牛生産の担い手や地域のリーダーの育成を目的として、飼養技術や審査技術に関する研修会を実施した。

研修会開催 3 回

(9) 北海道和牛ブランド創出推進事業（北海道/補助 548 千円）

北海道産和牛の統一ブランド銘柄を創出し、道内外での認知度向上を図るため、関係者による検討会を開催した。

・ブランド懇話会世話人会開催 1 回

・ブランド懇話会設立総会 1 回

(10) 第12回全国和牛能力共進会事業（農業団体11団体/負担金13,844千円）

令和4年10月に鹿児島県で開催された第12回全国和牛能力共進会において、日頃の改良の成果を展示し、北海道の種牛や肉牛を全国にPRするとともに、道内の飼養管理技術の向上や肉牛の生産基盤の強化を図るための取り組みを行った。

- ・北海道団結式、北海道最終選抜会（北海道代表牛22頭選抜）
- ・最終比較審査（優等賞：8部門19頭、1等賞：1部門3頭）10/6～10

(11) 第13回全国和牛能力共進会準備事業

令和9年に北海道で開催する第13回全国和牛能力共進会の実行委員会設立に係る業務を実施した。

- ・実行委員会の設置（北海道ほか30団体）
- ・専門部会・総務企画部会・出品対策部会の設置
- ・第12回全共鹿児島会場にて次回開催PRの実施

(12) 強い農業づくり事業：めん羊振興（北海道/補助68千円）

優良な系統の普及啓発を推進するとともに、めん羊の飼養管理技術及び改良増殖技術の向上を図るため、研修会を開催した。

- 研修会開催 1回（札幌市）
- めん羊共進会開催 1回（士別市）

(13) めん羊登録改良事業

めん羊の血統登録を実施し、品種の証明及び育種改良を推進するとともに、出生確認証明を発行することにより個体識別を促進し、円滑な改良・増殖を推進した。

[登録・証明件数] (単位：件・%)

区 分	登 録		証 明
	血 統	予 備	出 生
件 数	549	81	1,435
前年度対比	97.7	64.8	88.0

(14) 酪農畜産関係組織の事務局の運営

生産振興・消費拡大・ブランド化の推進等のため、畜産生産者等が組織した各種協議会の事務局を担当し、生産者の支援を行った。

① 北海道和牛振興協議会

黒毛和種の生産者で構成され、和牛の改良増殖、生産基盤の充実と経営安定に資する各種の活動を行った。

② 北海道和牛生産戦略会議

本道における和牛の産地形成の確立と生産振興の効果的な推進を図るため、道内関係者と連携を図りながら和牛振興への取り組みを行った。

③ 北海道肉用牛生産者協議会

肉牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、肉牛の振興に資する各種の活動を行った。

④ 北海道産牛肉消費拡大強化対策実行委員会

道内の肉牛生産者自らが取組む道産牛肉消費拡大事業に、関係機関と連携し積極的に支援を行った。

⑤ 北海道あか牛振興協議会

あか牛を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道におけるあか牛の生産振興に資する取組みを行った。

⑥ 北海道短角牛振興協議会

日本短角種を飼養する者、賛同する個人及び団体で構成され、北海道における日本短角種の生産振興に資する取組みを行った。

⑦ 北海道めん羊協議会

めん羊を飼養する者、賛同する個人で構成され、北海道におけるめん羊の生産振興に資する取組みを行った。

⑧ 北海道養鶏会議

鶏を飼養する者、賛同する企業及び団体等で構成され、北海道における養鶏の生産振興に資する取組みを行った。

⑨ 北海道畜産技術連盟

道内の関係機関・団体と連携を図りながら、畜産技術の普及啓発のために畜産関係新技術情報冊子作成などの取組みを行った。

⑩ 北海道地方公営競馬振興協議会

地方競馬主催者と連携を取りながら、地方競馬と馬事畜産の振興及び普及啓発を図るための支援を行った。

⑪ 北海道自給飼料改善協議会

自給飼料の確保に向けた研修会を開催した。

⑫ 第13回全国和牛能力共進会北海道実行委員会

令和9年に開催予定の第13回全国和牛能力共進会北海道大会の開催に係る準備活動を行った。

⑬ 北海道和牛ブランド懇話会

生産者と流通関係者が一体となって、北海道和牛のブランド確立と全国有数の和牛産地としての地位を確立するため、懇話会を設立した。

3 補填金交付等事業

肉用牛肥育経営の安定を図るため、次の事業を行った。

肉用牛肥育経営安定交付金：牛マルキン（農畜産業振興機構/委託他 114,339 千円）

肥育牛契約生産者の負担金により基金を造成し、牛枝肉価格等の変動によって肥育牛経営の収支が悪化した時に粗収益と生産費の差額に対して、農畜産業振興機構からの交付金と併せて補填を行った。

積立金造成及び交付金交付状況

① 生産者負担金単価（単位：円）

品種区分	令和4年度
肉専用種	28,000
交雑種	19,000
乳用種	19,000

② 交付金単価〔令和4年4月～令和5年3月販売〕（単位：円）

品種区分	販売年月（交付は販売の翌々月）					
	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
肉専用種	—	—	—	6,802	75,892	49,522
交雑種	—	—	30,939	34,163	43,261	21,557
乳用種	39,903	42,264	43,892	38,371	44,452	40,458

品種区分	販売年月（交付は販売の翌々月）					
	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3
肉専用種	57,654	53,398	52,936	105,317	127,548	125,613
交雑種	10,291	1,765	—	12,947	46,034	10,440
乳用種	43,010	36,964	49,166	43,470	45,992	56,792

③ 交付金交付実績（単位：頭・円）

品種区分	対象頭数	交付金額		計
		負担金	交付金	
肉専用種	17,709	244,951,072	734,851,647	979,802,719
交雑種	35,840	184,769,592	554,307,547	739,077,139
乳用種	78,189	815,106,723	2,445,318,616	3,260,425,339
合計	131,738	1,244,827,387	3,734,477,810	4,979,305,197

④ 基金管理実績

(単位：円)

品種区分	期首残高	期 中		期末残高
		増 加	減 少	
肉専用種	0	1,153,794,985	244,951,072	908,843,913
交 雑 種	0	1,576,726,266	184,769,592	1,391,956,674
乳 用 種	0	2,105,049,934	815,106,723	1,289,943,211
合 計	0	4,835,571,185	1,244,827,387	3,590,743,798

4 普及啓発推進事業

消費者の畜産に対する理解の促進や畜産物の消費拡大を図るため、PR活動を行った。

地域畜産支援指導等体制強化事業[地方競馬] (中央畜産会/委託 600千円)

地方競馬の振興に資するため、本協会や北海道地方公営競馬振興協議会が主催する競馬ファン対策イベントに対する支援を行った。

イベント支援 2回 (帯広市)

5 肉牛登録推進事業

子牛登記・登録を実施することにより、正確な血統を証明し、品種としての信頼性の向上を図るとともに、地域和牛集団の確立を推進した。

また、生産者の登録審査の意義に対する理解を深め、生産基盤の充実強化を図るため、地域技術員の審査技術の指導を行った。

[登記・登録件数] (単位：件・%)

区 分		子牛登記	登 録
黒毛和種	件 数	78,013	9,899
	前年度対比	102.4	97.6
褐毛和種	件 数	368	64
	前年度対比	84.7	125.4
日本短角種	件 数	174	83
	前年度対比	65.4	96.5
外国種	件 数	60	24
	前年度対比	115.3	92.3

[登録審査員の養成及び技術向上]

登記・地方審査委員合同研修会 1回

登記検査委員資格認定研修会 3回

6 機械施設リース事業

酪農畜産経営の体質強化に資するため、施設・機械の借受、貸付を実施するとともに施設の有効利用を促進するための指導を行った。

〔取扱実績〕

(単位：台・千円・%)

区 分		台 数	金 額	前年度対比 (金額)
協会有リース	・新品バルククーラー他	7	37,587	105.0
畜産近代化リース	・自給飼料生産利用機械施設 ・生乳生産合理化施設 ・畜産環境改善機械施設	30	233,896	288.7
畜産環境整備機構	・経営リース ・調査リース	2	3,123	26.8
合 計		39	274,606	213.8

7 受託事業等

関係機関・団体からの受託等により、畜産に係る調査業務等を行った。

(1) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業：機械導入（中央畜産会/補助 45,083 千円）

畜産クラスター計画に基づき、地域の関係者が連携して地域全体の収益力向上を図るため、畜産経営体がコスト削減や収益力向上等に資する機械を導入する事業を行った。

配分件数 88 協議会 補助金額 8,250,178 千円

(2) 畜産経営体生産性向上対策事業：畜産 ICT（中央畜産会/委託 2,439 千円）

酪農経営や畜産経営の労働負担軽減・省力化に資する機械装置の導入を支援する事業の推進業務を行った。

配分件数 33 会議 補助金額 268,510 千円

(3) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業：楽酪 GO（中央畜産会/委託 10,577 千円）

酪農経営における労働負担軽減・省力化に資する機械装置の導入及びそれと一体的な施設の整備等を支援する事業の推進業務を行った。

配分件数 12 会議 補助金額 440,623 千円

(4) クラスター全国実態調査事業（中央畜産会/委託 4,000 千円）

畜産クラスターに係る取組みを全国で推進するため、先進的な経営等を対象に経営調査を行った。

調査件数 40 件

(5) クラスター協議会優良事例調査事業（中央畜産会/委託 250 千円）

機械導入事業、施設整備事業、実証支援事業に取組んだ協議会を事例として、協議会の設立・取組み経緯や課題、解決策等について調査を行った。

調査 1 協議会

(6) クラスタ改善効果事業 (中央畜産会/委託 450 千円)

畜産クラスター事業を活用して機械導入及び施設整備を行った経営体を対象に、その効果に関する調査を行った。

調査件数 3 件

(7) 課題解決サポート調査事業 (中央畜産会/委託 3,762 千円)

日本政策金融公庫による農家への資金融資等に係る農家の経営計画作成、経営課題の把握や解決策の提案などを行った。

実施件数 24 件

(8) 軽種馬経営実態調査事業 (中央畜産会/委託 1,699 千円)

軽種馬の生産振興に資するため、軽種馬経営における販売産駒 1 頭当たりの生産費用等の調査を行った。

調査件数 10 件

(9) 生産技術情報提供事業 (中央畜産会/委託 5,340 千円)

家畜の生産力を最大限に発揮させるため、家畜生産性に係るデータの収集及び畜産経営体の技術成績における課題改善指導を行った。

酪農経営 60 戸

(10) 経営指導技術向上事業：研修派遣 (中央畜産会/委託 280 千円)

畜産経営支援指導のスキルの習得・向上を目的として、職員の育成に必要な研修会に職員を派遣した。

派遣件数 21 件

(11) 動産担保融資支援事業 (日本政策金融公庫・生産者/委託他 10,329 千円)

日本政策金融公庫等金融機関、十勝畜産農業協同組合等と締結した「ABL 協定」に基づき、肉用牛及び乳用牛の動産を担保に金融機関から運転資金の融資を受けた農家について、飼養牛のモニタリングを行った。

モニタリング 16 件

(12) 地域連携支援事業 (日本政策金融公庫/委託 350 千円)

公庫資金が地域の実態に応じて総合的かつ計画的に活用されるよう、地域農業の実態把握と課題解決に向けた研修会を開催した。

研修会等の開催 2 回

(13) 草地難防除雑草駆除技術実証事業：R3 補正 (日本草地畜産種子協会/委託 5,920 千円)

R4 補正 (" /委託 263 千円)

自給飼料基盤に立脚した安定的な畜産経営の実現を図るため、難防除雑草の繁茂した生産性の低い草地から高位生産草地への転換を進める事業の推進指導を行った。

事務取扱 [R3 年度補正分] 43 地区 [R4 年度補正分] 46 地区

(14) 畜産近代化リース貸付指導等事業（畜産近代化リース協会/委託 3,045 千円）

畜産近代化リース事業による貸付機械の適切な管理を図るため、現地調査指導を行った。
また、農協等に対し同事業の普及啓発を図るため、新規開拓調査を行った。

調査指導 37 基

新規開拓調査 19 農協等

(15) 地域経済状況調査事業（北海道農業公社/委託 7,799 千円）

酪農経営等の経済状況等の調査を行い、地域・規模別の経営類型資料を作成した。

調査地域 9 地域

(16) 自給飼料改善指導事業（ホクレン・北海道農業公社・雪印種苗/負担金 1,350 千円）

近年の草地における様々な課題に取り組むため、関係団体により設置した「北海道自給飼料改善協議会」と連携して、自給飼料基盤の向上及び改善のための研修会等を開催した。

自給飼料生産優良事例発表会の開催 1 回

自給飼料改善協議会セミナーの開催 1 回

8 北農ビル管理運営事業

北農ビルの一部所有者として、北農ビルの管理運営を行った。

第3 会議等の開催

1 総 会

令和4年度 通常総会 — 原案どおり議決 — 令和4年 6月 27日

〔議 事〕

議案第1号 令和3年度事業報告及び決算報告等について

議案第2号 役員を選任について

議案第3号 令和4年度役員報酬について

議案第4号 令和4年度会費負担額及び納入について

報告事項 令和4年度事業計画及び収支予算について

令和4年度 臨時総会 — 原案どおり議決 — 令和4年 10月 26日

〔議 事〕

役員（監事）の選任について

2 理 事 会 議決事項及び報告事項

〔第1回〕（書面） — 原案どおり議決 — 令和4年 5月 10日

役員推薦会議における推薦委員の選任

〔第2回〕 — 原案どおり議決 — 令和4年 6月 6日

① 令和3年度事業報告及び決算報告等について

② 令和4年度役員報酬について

③ 令和4年度会費負担額及び納入について

④ 令和4年度通常総会の開催について

⑤ 肉用牛肥育経営安定制度業務規程の一部改正について

〔第3回〕（書面） — 原案どおり議決 — 令和4年 9月 26日

役員を選任に係る臨時総会の開催について

〔第4回〕 令和4年 11月 22日

報告事項 令和4年度事業の実施状況等について〔4月～10月〕

〔第5回〕 — 原案どおり議決 — 令和5年 3月 24日

① 令和5年度事業計画及び収支予算について

② 重要な使用人の任用について

③ 諸規程の改正について

3 専門委員会

家畜登録改良事業 和牛登録専門委員会 令和5年 2月 15日

① （公社）全国和牛登録協会通常総会報告について

② （一社）北海道酪農畜産協会登録事業について

③ 第13回全国和牛能力共進会北海道大会開催について

家畜登録改良事業 和牛改良専門委員会 令和 5 年 3 月 3 日

- ① 北海道の和牛改良の推進状況について
- ② 北海道推奨種雄牛について
- ③ 全国和牛能力共進会について

4 監 査

[監事監査] 令和 4 年 6 月 1 日

令和4年度監事監査（令和3年度決算分）

[内部監査]

総務部 第1回 令和 4 年 8 月 3 日、 4 日
第2回 令和 4 年11 月 30 日、12 月 1 日
第3回 令和 5 年 1 月 23 日、 24 日

第 4 会員及び役職員数

[会 員]

項 目	3年度 期 末	4年度		4年度 期 末
		増	減	
会 員	206	—	1	205
団 体	54	—	—	54
農 協	83	—	1	82
市町村	69	—	—	69

[役職員]

項 目	3年度 期 末	4年度		4年度 期 末	摘 要
		増	減		
役 員	11	2	1	12	うち常勤理事1名
理 事	9	1	—	10	
監 事	2	1	1	2	
職 員	46	6	3	49	

事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。